

# アリクイ NEWS

2012年  
7月  
vol.1

君が学び、君が育ち、君が君になる学校。とちぎユースワークカレッジ。

## ◎代表挨拶

2012年4月より、とちぎユースワークカレッジが任意団体として独立しました。2009年にスタートしたとちぎユースワークカレッジの事業を通し、立ち止まり、孤立する若者関わってきました。こわばった表情で通い始めた学生が、いつしか笑顔になり、動き始め、カレッジを飛び立ち、終了後も集まって飲み会をしている様子に、人と関わることを意味を改めて教えられています。次の一歩を踏み出すのは若者自身だけれど、そのきっかけは人です。人との出会いのためにカレッジがあり、その出会いを社会に出ても途切れることのない絆につむぎあげる場がカレッジです。多くの方に支えられて実現してきた今日までの日々深く感謝し、可能性という彼らの財産を社会に生かすために、これからもさらに多くの人と繋がりを築き、歩み続けるカレッジをどうぞよろしく願いいたします。



とちぎユースワークカレッジ  
代表 横松 陽子 (Yokomatsu Youko)

## ◎学長挨拶

とちぎユースワークカレッジもすでに3年が過ぎました。若年無業者に対して、お仕事をお世話するという、このNPO法人の当初の目標は、有職率69%ということで、ある程度の成果が得られていることと存じます。このたび委託期間も終わり、いよいよ自分たちの実力で、法人を運営していく時期になり、新しい体制で出発いたしました。今後も皆様、末永くお付き合いいただけますよう、お願い致します。



とちぎユースワークカレッジ  
学長 楡木 満生 (Niregi Mitsuki)



## ○スタッフ紹介



### 学生担当 清野 香苗 (Seino Kanae)

2009年にスタートしたとちぎユースワークカレッジも、沢山の方々に支えられ、4年目を迎えることが出来ました。みなさま、いつも本当にありがとうございます。カレッジでは、おもに学生・保護者の方の相談や面談、そして恐れ多くもこの春から、経理も担当させて頂くことになりました。やりたいことや生きる意味、仕事、そして自分自身も、探したり見つけたりするものではなく「たどりつくもの」のような気がします。多くの人と出会い、色々なことを経験する中で、それぞれが何を想いどんな景色に「たどりつく」のか・・・大切な時間をカレッジにあずけてくれた学生と共に、これからも素敵な出会いや経験を、たくさん重ねていきたいです。



### プログラム担当 長尾 守人 (Nagao Morito)

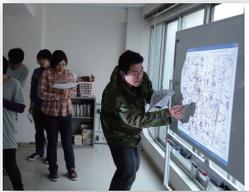
はじめまして。この春6期の学生と同時期に入社致しました長尾と申します。若く見られることが多いですが、栃木生まれの38歳です。大学卒業後、3年間家電量販店で接客・配達業務に従事。その後、「広告」の世界へ。東京、宇都宮の会社で10年間、広告制作やイベントの仕事をしてきました。また、4年前から国際自然大学校 日光霧降校でボランティアスタッフとして、若者支援、子どものキャンプ支援などに関わらせて頂いています。そんな流れの中で「若者支援」「教育」「人の心理」に深く興味を持つようになり、現在の職場に至っています。最後に好きな言葉を紹介します。「人生とは、あなたが会おう人々であり、その人たちとあなたが作るもの。だから待っていないで作りはじめなさい。人生は短い。情熱を身にまとい、自分の夢を生きよう！」(1部抜粋) 学生とともに日々精進していきます。



### 非常勤スタッフ 古河 大輔 (Furukawa Daisuke)

栃木で生まれ、仙台で文化人類学を学び、名古屋でインテリア家具メーカーに勤め、南米ポリビアでは青年海外協力隊として村落開発に携わるなど、各地を転々とし、今に至る。「若者の可能性を、社会に多様性を」との想いから、多くの方に助けられ、支えられながら、とちぎユースワークカレッジに携わって4年目です。畑や田んぼなど、主に屋外の活動を担当。人が輝く環境や、動き出すきっかけはそれぞれ違います。カレッジでは色々なことにトライしてください。体験を通して分かることってたくさんあります。まずは、楽しむところからはじめましょ。

◎ **授業紹介** 2012年4月～7月までの授業のトピックスです。(一部抜粋)



**4.23 「街を歩こう」**

地図を使って目的地に行く計画を立て、宇都宮の街を巡りました。



**4.25 「水田土づくり」**

田植えをする前の準備。水が外に流れないように、田んぼに土手をつくりました。



**5.14 「レゴでつくる」**

レゴを使って「運動会」をテーマにグループで協力して作品をつくりました。



**5.16 「野菜植え付け」**

有機農法家にご指導いただき、自分たちで選んだ野菜をグループごとに植え付けました。



**5.18 「隠れ3滝ハイク」**

霧降高原にある隠れ3滝をハイキングで巡りました。



**5.23 「本当の豊かさとは？」**

アフリカのザンビアでの海外青年協力隊の体験をお話して頂きました。



**5.25 「ディベートに挑戦」**

伝えることの難しさ、役割として意見を述べることを学びました。



**5.28 「ユニアート」**

アートを通して、自分の内面を吐き出すことを体験しました。



**6.1 「ヤンスポ委員会」**

運動会に向けて、数十回議論を重ねました。



**6.4 「救急救命訓練」**

人の命を救うことを学び、運動会に備えました。



**6.6 「畑の虫のはなし」**

畑の虫を知ることで、命の循環、自然のバランスの大切さを学びました。



**6.18 「社長の話を聞こう」**

経営者側からの視点で「働くということ」をお話して頂きました。



**6.20 「履歴書を書く」**

自分の過去や長所、短所などを見つめ、履歴書を書くコツを学びました。



**6.22 「ものづくり」**

「みんなが楽しめるモノ、楽しくなるモノ」をテーマに、遊具を作りました。



**6.25 「フラワーハートセラピー」**

花と自由に遊ぶことで心を解放し、自分を見つめることを体験しました。



**6.27 「紅茶のはなし」**

紅茶の産地、味、香り、紅茶の色の個性と人間の個性を結びつけてお話して頂きました。



**6.28 「生きもの採集」**

自然に親しみ、遊びを通して、多種多様な生きものの存在を知りました。



**6.28 「田んぼ 田の草とり」**

田んぼの草取りを通して、お米を作る大変さを学びました。



**7.2 「電話の掛け方」**

参加型授業を通して、電話の掛け方、受け方を学びました。



**7.11 「ちぎり絵」**

ちぎり絵の制作を通して、手先を動かすことの楽しさ、協力することの大切さを学びました。

## ◎行事紹介

### ○とちぎヤングスポーツフェスティバル 2012年6月13日(水)

すっかり恒例となりました「とちぎヤングスポーツフェスティバル」。2012年6月13日(水)に宇都宮市錦中央公園で行われました。第6回目の大会を、とちぎ若者サポートステーション・栃木県若年者支援機構、とちぎ県南若者サポートステーション・とちぎ青少年自立援助センター、とちぎ県北若者サポートステーション、KTC中央高等学院 宇都宮キャンパス、とちぎユースワークカレッジの5団体、総勢83名の参加で実施しました。今回の競技結果は優勝白組、カレッジの赤組は残念ながら準優勝となりました。



実行委員を含め協力してくださった皆さん参加者の皆さんが笑顔があふれ楽しんでくれたことが嬉しく思います。実行委員長をまかされ最初の頃は不安な想いが大きく、自信もありませんでしたが、自分ひとりで実行するのではなく仲間や協力があることで取めることができたこと、自分自身にも大きな変化を得ることができました。本当にありがとうございました。

実行委員長 青木 恵美

普段の生活ではスポーツに触れる機会や、他人と協力し競い合うといったことはとても少ないように感じますが、ヤンスポを通してこれらのことを経験できたように思います。また、競技を続けるうちに不思議と勝ちたいという欲求が出てきました。結果としては残念でしたが、皆が全力を出し切り、一体感を感じることのできる運動会になったと思います。

副委員長 石井 雄太

私が今回のヤンスポで学んだことは、自分を省みて、今まで他人を信じてこなかったというか、自分一人で物事を進めてきてしまったことを反省しています。当日はそのせいで「ちゃんと協力してやれていた」とは言いがたい状況にあった気がします。以前から感じつつあったのですが、「自分が苦勞するだけでは他人の助けにならない」のかもしれない。

競技リーダー 森 雄史

皆で協力して作業する難しさや、自分の弱みが見えて苦しいことも多かったけど、当日参加者がみんな楽しそうに競技を行っている姿が何よりも嬉しかったです。

広報・アナウンサー 草野 智子

### ○遠足「三鷹の森 ジブリ美術館」 2012年7月13日(金)

#### 「遠足」をふりかえって

今回遠足のリーダーをやってみて、最初は「どこから手を付けていいのか？」分からなかったが、周りのサポートもあり、最後までやり遂げることができた。また、この役割をやって気づいたことが1つある。それは、あいさつを「どうにかなるだろう」という気持ちで臨んだが、どうにかならなかった(笑) 今度こういう役割がまわって来た時は、何を話すかきちんと準備して、本番に備えたいと思う。

リーダー 大久保博之



今回サブリーダーをやってみて、自分自身が本当に役に立っているのか実感がわかなかった。でも周りの客観的な意見を聞くうちに自分らしく役割をこなすことができたのかな？と思うようになった。実際前に出るのが得意ではない自分が少し積極的になれたかな？と思う場面もあった。今回気づいたのは、自分はグイグイ引っ張っていくよりも、周りに合わせながら引っ張っていく方が向いていると実感した。

サブリーダー 飯田圭紀

## ◎その他の事業

### やさしい心の ケア講座



学長 楡木満生先生に心理学の基礎を学ぶ「やさしい心のケア講座」。月1回、土曜の午後実施する講座(全8回/1回3,500円)が、4月27日、基礎編「ようこそ、こころの世界へ」、実践編「臨床心理学とは何か」の内容でスタートしました。5回目の**9月8日(土)**は基礎編「感情をとらえる」、実践編「カウンセリング理論(来談者中心療法)」です。楡木先生による軽妙なトークと、実例を基にした内容は大変わかりやすいと好評です。まだ席に余裕がありますので、心理学に興味をお持ちの方、若者への理解を深めたい方、ぜひお問い合わせください。

### 大学・専門学校を 中退した若者のための 相談会



大学・短期大学・専門学校を休学中または退学した若者は、社会とのつながりが無いまま自宅にこもりがちになります。現在カレッジに通う学生の50%が高等教育機関の中退者であることに注目し、「休学中または中退者のための相談会」を開いています。身近に困っている方がいましたら是非ご利用ください。

●日時：毎月第1・3水曜日 10:00~15:00

●会場：とちぎ青少年センター(通称アミークス) ●参加：無料・予約制

## ◎特別授業 「焚き火の集い&じぶんマップ cafe」 (参加者 6名)

2012年6月22日(金)~23日(土) 国際自然大学校 日光霧降校でカレッジ初のお泊まりプログラム(希望者のみ)を実施しました。

今回お世話になったのは日光にある国際自然大学校 日光霧降校です。いつもと違う場所、時間、人の中で、普段とは違う過ごし方をしてもらいました。初日は昼間のものづくりのプログラムが終了した後、そのまま日光霧降校に残り、お泊りプログラムがスタートしました。初日のプログラムは、焚き火にあたり、学童保育の子も達と遊んだり、自分達が泊ることになるコテージを下見に行ったり、本をじっくり読んだり、普段話せない話題で会話を楽しんだり、温泉に行ったり、虫を見に行ったり、焚き火を囲んで食事会など、それぞれが思い思いに過ごしました。



2日目は「じぶんマップ cafe」です。アメリカで生まれた「マインドマップ」という思考ツールを使って、自分自身のことを見つめていきます。まずは基礎から始まり、徐々にレベルを上げていきます。マインドマップは頭の使い方の道具、頭がいろいろどういふこと?、Aha! 体験、ミニマインドマップを書いてみよう、頭の使い方、ミニマインドマップをフルマインドマップに。普段とは違う放射思考に最初は戸惑いも見えましたが、徐々に要領をつかみ、後半はスムーズに言葉が出ていたように思います。マインドマップは1つの道具。道具を使って自分を見つめてみる。一番大切なのは道具を使うことではなく、出てきた言葉を元に、自分の行動変容につなげていくことです。2日間を通して学生たちは、とても楽しんでいるようでした。近いうちにまた第2弾を企画したいと思っています。



## ◎講師の横顔



NPO 法人 国際自然大学校 日光霧降校  
金井聡さん



NPO 法人 国際自然大学校の金井です。山が好きです。19歳の時に北アルプスで見た夕焼けは衝撃的でした。いろいろなモヤモヤも、それまでのキツイ登り坂も、すべてが吹き飛んでしまうほど衝撃的でした。あれから17年。今、自然というフィールドで、体験教育という手法で、人の可能性を広げる仕事・志事・私事をしています。数ある原点のうちの一つがああ夕焼けです。カレッジの授業においても、のちのち、「あの体験が私のターニングポイントだった」と学生に言ってもらえるような「衝撃的な」活動を一緒にしていきましょう。

## ◎今後の予定

とちぎユースワークカレッジ主催 ひきこもり支援 講演会 2012

### 「ひきこもり家族のサバイバルプラン ～考え方と実践法とは～」

我が子が「働けない」この予定外の状況に  
家族はどう向き合っていくか?  
「働けない」ことを前提にした  
ライフプランを学び、  
“目に見えない不安”を  
明確にしていく講演会です。  
皆様のご参加お待ちしております。



講師：ファイナンシャルプランナー 畠中雅子さん  
日時：8月25日(土)13:30から  
会場：栃木県総合文化センター 第1会議室  
参加費：無料(要予約)  
TEL 028-638-5502(とちぎユースワークカレッジまで)  
定員：100名

## ◎賛助団体 (2012年4月~6月に賛助会員登録いただいた団体)

- 宇都宮まちづくりセンター まちびあ
- 楽画クラブ
- 関東マルワ産業株式会社
- 株式会社 キッズコーポレーション
- NPO 法人 キャリアコーチ
- NPO 法人 グランドワーク西鬼怒
- 一般社団法人 栃木青少年自立援助センター
- とちぎ協働デザインリーグ
- 有限会社 ドンカメ
- 日々輝学園高等学校

## とちぎユースワークカレッジ

〒320-0808  
栃木県宇都宮市宮園町 8-2 松島ビル 2F  
TEL/FAX 028-638-5502  
E-mail: info@youthworkcollege.jp  
URL: http://www.youthworkcollege.jp/